



KENPO
DAYORI

健保だより

西武健保ホームページからご覧になれます。http://www.seibu-kenpo.or.jp

No.1062

2019.5.29

西武健康保険組合



「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」をお配りいたします

病院や薬局などから送られてくる診療報酬明細書（レセプト）をもとに、ジェネリック医薬品を使うと薬代を減らせる方に「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」をお配りいたします。

「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」が届いた方はもちろん、届かない方も、ぜひこの機会にジェネリック医薬品への切り替えにご理解・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

今回の「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」には、“昨年1年間に処方されたお薬にどのようなジェネリック医薬品があるのか”、そして“それを利用すると、薬代をどれくらい減らすことができるのか”についてご案内しております。普段、服用している薬をジェネリック医薬品に切り替えていただくことで、皆さま一人ひとりの薬代の負担が減り、ご家庭での医療費の節約に役立つだけでなく、西武健保の医療費の節約にもつながります。



そうなんだ、一石二鳥だね



「安い」だけじゃない、「安心」して使える薬。「ジェネリック医薬品」ってなに??

テレビCMなどでも最近よく耳にする「ジェネリック医薬品」。ずばり、**新薬（先発医薬品）**と同じ効能のある**“後発医薬品”**のことです。医療機関などで処方される薬の多くは「新薬」と呼ばれるもので、研究開発に長い年月と莫大なコストがかかっているため、開発したメーカーの独占的な製造・販売が特許により保護され（特許期間は20～25年）、価格も高く設定されています。この特許期間が切れたあとに、新薬と同じ有効成分でつくられる薬が「ジェネリック医薬品」です。



現在、製造・販売されているジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、承認されたものですので、安心してお使いいただくことができます。

「ジェネリックを使ってみたいけど、効果が心配…」という場合は、**「お試し調剤」**を受けることもできます。「お試し調剤」とは1回に処方された薬を2回に分けて受け取ることができる制度です。1回目をジェネリックで短期間分調剤してもらい、問題がなければ2回目もジェネリックへ切り替え、万が一、体に合わなかった場合は、2回目をもとの新薬に戻すことができます。「お試し調剤」を利用するときは、調剤薬局で薬剤師に相談してみましよう。



ジェネリック医薬品は、どれぐらいの人が使っているの??

およそ 10 年前は 30% 台だったジェネリック医薬品の使用割合も、近年では 60% 台まで上昇しています。

また平成 29 年の閣議決定で、来年の 9 月までに使用割合を 80% 以上にすることが目標とされたため、今後増々ジェネリック医薬品を使用する人が増える見込みです。



ジェネリック医薬品は多くの
人に使われているんだね!

参考：厚生労働省ホームページ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進について

ジェネリック医薬品を使用するには??

診察のときに

医師から医薬品の説明を受けるときや、診察の際に、ジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。



調剤薬局で

処方せんの「変更不可」欄に印がなければ、ジェネリック医薬品に変更することができます。薬剤師に相談してみてください。



服用している薬にジェネリック医薬品があるか知りたいときは??

西武健保のホームページ (<http://www.seibu-kenpo.or.jp/>) のトップページに『くすり検索』機能があり、キーワード欄に服用している薬の名称を入力して検索キーをクリックすると、結果一覧が出てきます。メーカーや包装コードなどから該当する薬の詳細ボタンをクリックすると、その薬が新薬なのかジェネリック医薬品なのかが分かり、新薬であれば、どんなジェネリック医薬品があるのか調べることができます。また、その薬の海外での評価や、妊娠時服用の安全性などについても調べることができます。(パスワード : seibu)



ジェネリック医薬品に変更するときは、医師や薬剤師に相談を!

症状や薬の種類によっては、ジェネリック医薬品が使えないこともあります。まずは医師や薬剤師に相談し、必ずその指示に従ってください。